

# 3 市の施策に対する満足度・重要度について

## 3-1 満足度

◎ 【施策全般の総合的な満足度】は「ある程度満足」が5割台半ばである。

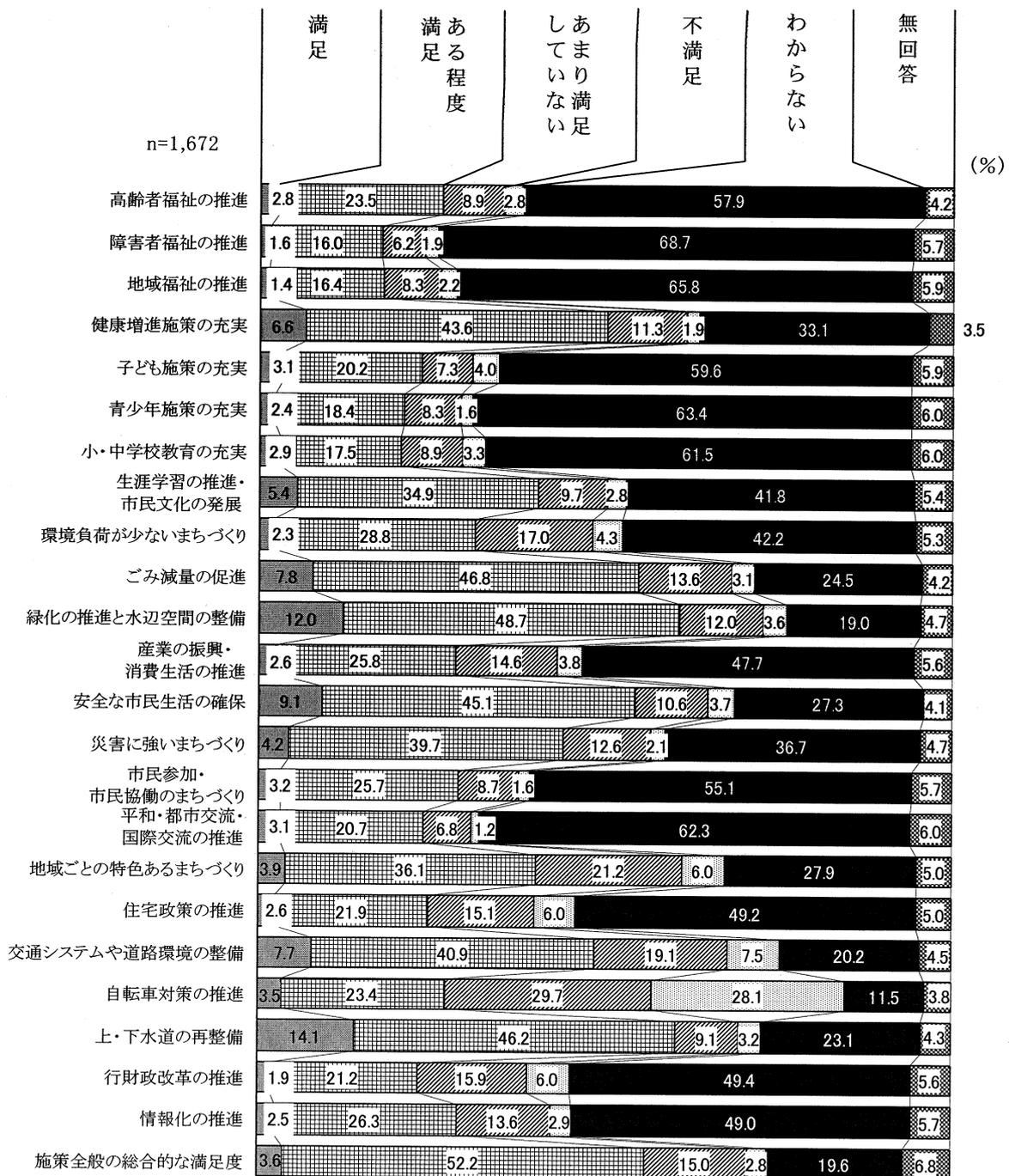
問13 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

【1】現在の市の施策・事業の実施状況に対し、どの程度満足していますか。

満足度を判断できない場合は「わからない」に○をしてください。

(○は項目ごとに満足度・重要度それぞれ1つ)

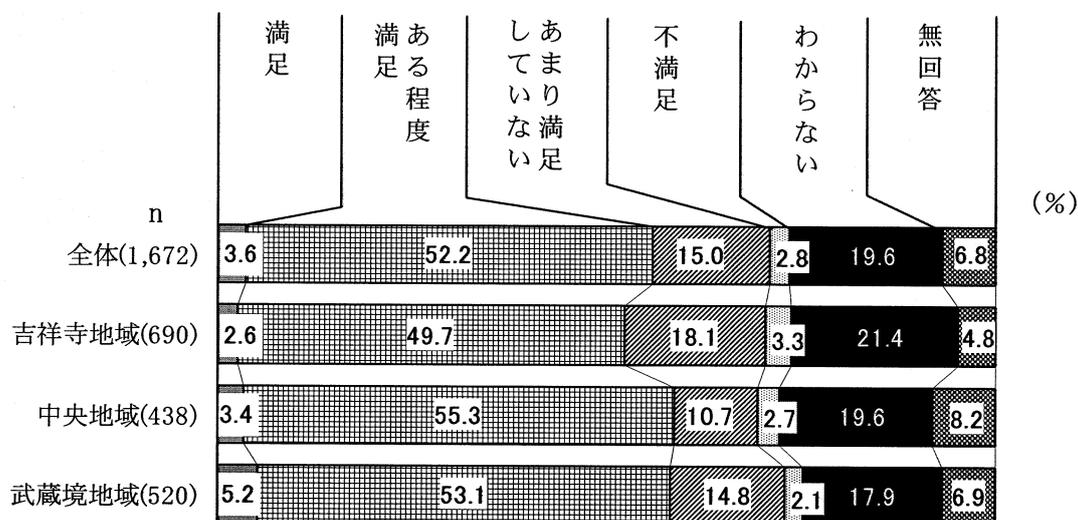
図表3-1 満足度



施策全般の総合的な満足度をみると、「満足」は5%未満であるが、「ある程度満足」は5割を超えている。一方で「あまり満足していない」は1割台半ば、「不満足」はわずかとなっている。

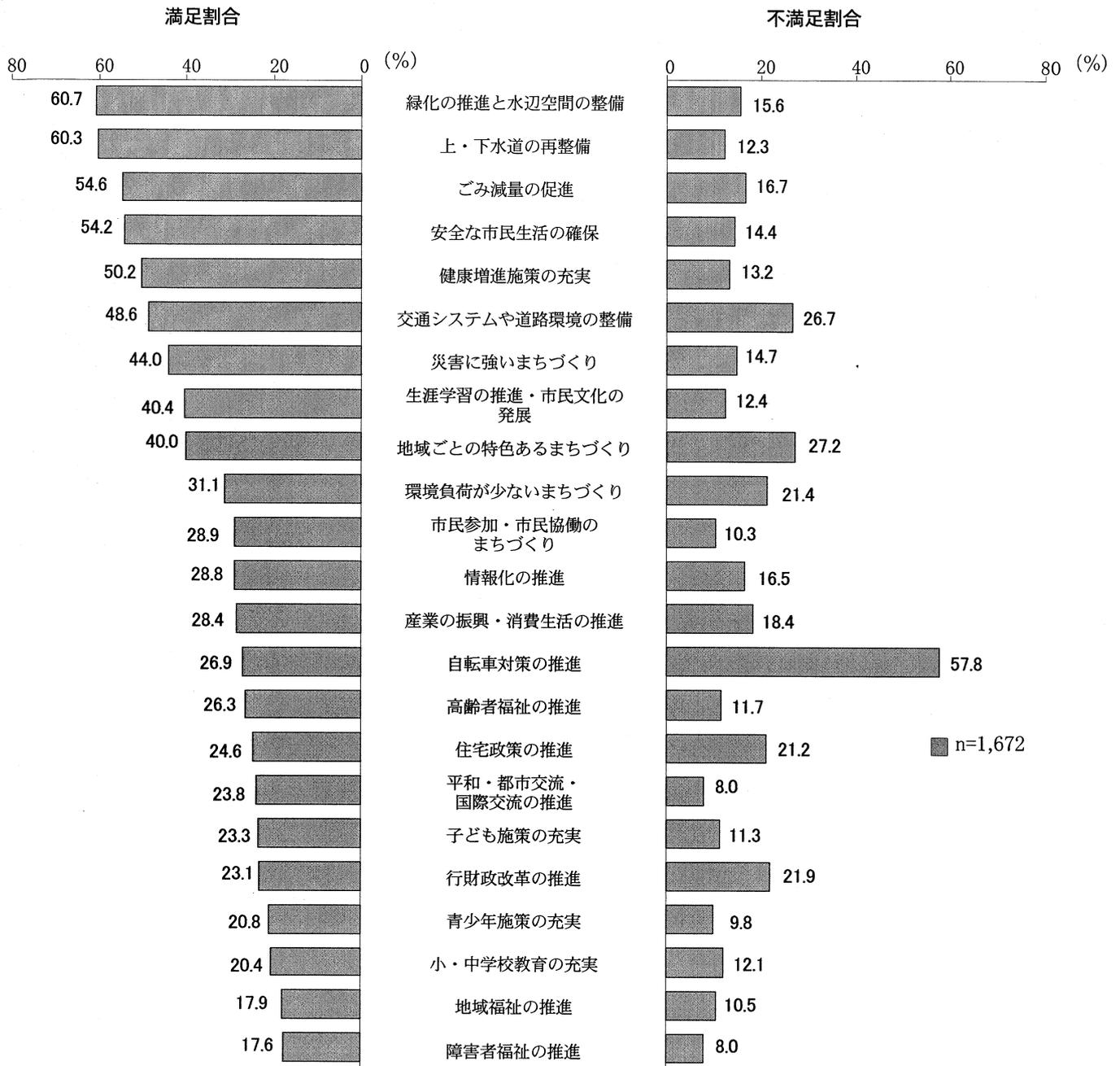
「満足」の割合が最も多いのは〔上・下水道の再整備〕で1割台半ば、「ある程度満足」は〔緑化の推進と水辺空間の整備〕で5割弱となっている。一方「不満足」と「あまり満足していない」は〔自転車対策の推進〕でともに最も多くなっている。(図表3-1)

図表3-2 施策全般の総合的な満足度 (居住地域別)



施策全般の総合的な満足度について、居住地域別に見ると、「満足」は武蔵境地域が最も割合が高く、「ある程度満足」は中央地域が最も高い。一方で「あまり満足していない」「不満足」の割合は吉祥寺地域が最も割合が高くなっている。(図表3-2)

図表3-3 満足割合・不満割合（満足順）



《満足》（満足+ある程度満足）

「満足」と「ある程度満足」を合わせた《満足》の割合が高い順にみると、〔緑化の推進と水辺空間の整備〕が6割強で最も高く、〔上・下水道の再整備〕も6割を超えている。次いで〔ごみ減量の促進〕、〔安全な市民生活の確保〕、〔健康増進施策の推進〕が5割台で続いている。

《不満足》（不満+あまり満足していない）

「不満」と「あまり満足していない」を合わせた《不満足》の割合は、〔自転車対策の推進〕が6割弱で最も高く、他と比べても特に高くなっている。次いで〔地域ごとの特色あるまちづくり〕、〔交通システムや道路環境の整備〕が3割弱で続いている。（図表3-3）

図表3-4 満足度（項目別件数表および満足度）

（件数）

番号	項目	4	3	2	1	合計	わからない	無回答	満足度
		満足	満足 ある程度	していない あまり満足	不満足				
1	高齢者福祉の推進	46	393	149	46	634	968	70	2.692
2	障害者福祉の推進	27	267	103	31	428	1,148	96	2.678
3	地域福祉の推進	24	275	139	36	474	1,100	98	2.605
4	健康増進施策の充実	110	729	189	32	1,060	554	58	2.865
5	子ども施策の充実	52	337	122	67	578	996	98	2.647
6	青少年施策の充実	40	308	138	26	512	1,060	100	2.707
7	小・中学校教育の充実	48	293	148	55	544	1,028	100	2.614
8	生涯学習の推進・市民文化の発展	91	584	162	46	883	699	90	2.815
9	環境負荷が少ないまちづくり	39	481	285	72	877	706	89	2.555
10	ごみ減量の促進	130	783	228	51	1,192	409	71	2.832
11	緑化の推進と水辺空間の整備	201	814	201	60	1,276	318	78	2.906
12	産業の振興・消費生活の推進	43	432	244	63	782	797	93	2.582
13	安全な市民生活の確保	152	754	178	62	1,146	457	69	2.869
14	災害に強いまちづくり	71	664	211	35	981	613	78	2.786
15	市民参加・市民協働のまちづくり	54	429	146	26	655	922	95	2.780
16	平和・都市交流・国際交流の推進	52	346	113	20	531	1,041	100	2.810
17	地域ごとの特色あるまちづくり	65	603	355	100	1,123	466	83	2.564
18	住宅政策の推進	44	367	253	101	765	823	84	2.463
19	交通システムや道路環境の整備	129	684	320	126	1,259	337	76	2.648
20	自転車対策の推進	58	392	497	469	1,416	192	64	2.028
21	上・下水道の再整備	235	773	152	54	1,214	386	72	2.979
22	行財政改革の推進	31	355	266	100	752	826	94	2.422
23	情報化の推進	41	440	227	49	757	820	95	2.625
24	施策全般の総合的な満足度	60	873	251	46	1,230	328	114	2.770

【満足度】

「満足」から「不満足」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、「わからない」、無回答を除いた回答の平均値を【満足度】とした。（図表3-4）

図表 3 - 5 満足度 (点数順)

順位	番号	項目	満足度	順位	番号	項目	満足度
1	21	上・下水道の再整備	2.979	13	19	交通システムや道路環境の整備	2.648
2	11	緑化の推進と水辺空間の整備	2.906	14	5	子ども施策の充実	2.647
3	13	安全な市民生活の確保	2.869	15	23	情報化の推進	2.625
4	4	健康増進施策の充実	2.865	16	7	小・中学校教育の充実	2.614
5	10	ごみ減量の促進	2.832	17	3	地域福祉の推進	2.605
6	8	生涯学習の推進・市民文化の発展	2.815	18	12	産業の振興・消費生活の推進	2.582
7	16	平和・都市交流・国際交流の推進	2.810	19	17	地域ごとの特色あるまちづくり	2.564
8	14	災害に強いまちづくり	2.786	20	9	環境負荷が少ないまちづくり	2.555
9	15	市民参加・市民協働のまちづくり	2.780	21	18	住宅政策の推進	2.463
10	6	青少年施策の充実	2.707	22	22	行財政改革の推進	2.422
11	1	高齢者福祉の推進	2.692	23	20	自転車対策の推進	2.028
12	2	障害者福祉の推進	2.678				

最も【満足度】が高いのは〔上・下水道の再整備〕である。次いで〔緑化の推進と水辺空間の整備〕が高くなっている。以下〔安全な市民生活の確保〕、〔健康増進施策の充実〕、〔ごみ減量の促進〕、〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕の順で続いている。

一方、最も【満足度】が低いのは〔自転車対策の推進〕である。次いで〔行財政改革の推進〕、〔住宅政策の推進〕、〔環境負荷の少ないまちづくり〕、〔地域ごとの特色あるまちづくり〕の順で続いている。(図表 3 - 5)

図表3-6 満足度（性別・居住地域別順位）

別 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
1位	上・下水道の再整備 2.979	上・下水道の再整備 3.006	上・下水道の再整備 2.962	上・下水道の再整備 2.907	上・下水道の再整備 3.006	上・下水道の再整備 3.051
2位	緑化の推進と水辺空間の整備 2.906	緑化の推進と水辺空間の整備 2.873	緑化の推進と水辺空間の整備 2.934	緑化の推進と水辺空間の整備 2.858	緑化の推進と水辺空間の整備 2.956	緑化の推進と水辺空間の整備 2.933
3位	安全な市民生活の確保 2.869	安全な市民生活の確保 2.869	平和・都市交流・国際交流の推進 2.897	健康増進施策の充実 2.857	安全な市民生活の確保 2.910	安全な市民生活の確保 2.917
4位	健康増進施策の充実 2.865	健康増進施策の充実 2.805	健康増進施策の充実 2.890	平和・都市交流・国際交流の推進 2.817	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.893	ごみ減量の促進 2.896
5位	ごみ減量の促進 2.832	ごみ減量の促進 2.788	安全な市民生活の確保 2.876	安全な市民生活の確保 2.814	健康増進施策の充実 2.858	健康増進施策の充実 2.879
6位	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.815	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.770	ごみ減量の促進 2.862	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.806	災害に強いまちづくり 2.834	市民参加・市民協働のまちづくり 2.851
7位	平和・都市交流・国際交流の推進 2.810	災害に強いまちづくり 2.763	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.849	ごみ減量の促進 2.793	ごみ減量の促進 2.829	災害に強いまちづくり 2.841
8位	災害に強いまちづくり 2.786	平和・都市交流・国際交流の推進 2.693	市民参加・市民協働のまちづくり 2.847	市民参加・市民協働のまちづくり 2.750	平和・都市交流・国際交流の推進 2.774	平和・都市交流・国際交流の推進 2.827
9位	市民参加・市民協働のまちづくり 2.780	高齢者福祉の推進 2.683	災害に強いまちづくり 2.801	災害に強いまちづくり 2.715	高齢者福祉の推進 2.752	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.770
10位	青少年施策の充実 2.707	市民参加・市民協働のまちづくり 2.682	青少年施策の充実 2.762	青少年施策の充実 2.712	市民参加・市民協働のまちづくり 2.743	高齢者福祉の推進 2.737

性別に見ると、1位、2位は〔上・下水道の再整備〕と〔緑化の推進と水辺空間の整備〕となっており、大きな違いは見られない。次に男性では〔安全な市民生活の確保〕が3位、〔健康増進施策の充実〕が4位と続いている。一方、女性では〔平和・都市交流・国際交流の推進〕が3位、〔健康増進施策の充実〕が4位となっている。

居住地域別で見ると、いずれも1位と2位は〔上・下水道の再整備〕と〔緑化の推進と水辺空間の整備〕である。3位は中央地域および武蔵境地域では〔安全な市民生活の確保〕であるのに対し、吉祥寺地域では〔健康増進施策の充実〕となっている。上位については、順位の差はあるが、全体とは大きく変わらない結果となった。（図表3-6）

図表3-7 満足度（年代別順位）

年代 順位	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上
1位	緑化の推進と水辺空間の整備 2.984	上・下水道の再整備 3.033	上・下水道の再整備 2.946	上・下水道の再整備 2.891	上・下水道の再整備 2.931	上・下水道の再整備 3.036	上・下水道の再整備 3.145
2位	上・下水道の再整備 2.943	緑化の推進と水辺空間の整備 2.971	緑化の推進と水辺空間の整備 2.944	安全な市民生活の確保 2.819	安全な市民生活の確保 2.902	健康増進施策の充実 3.017	ごみ減量の促進 3.000
3位	安全な市民生活の確保 2.917	安全な市民生活の確保 2.869	安全な市民生活の確保 2.845	ごみ減量の促進 2.8168	健康増進施策の充実 2.866	ごみ減量の促進 2.957	健康増進施策の充実 2.961
4位	市民参加・市民協働のまちづくり 2.913	災害に強いまちづくり 2.848	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.842	健康増進施策の充実 2.8166	緑化の推進と水辺空間の整備 2.850	緑化の推進と水辺空間の整備 2.956	平和・都市交流・国際交流の推進 2.957
5位	災害に強いまちづくり 2.873	高齢者福祉の推進 2.800	平和・都市交流・国際交流の推進 2.839	市民参加・市民協働のまちづくり 2.808	ごみ減量の促進 2.826	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.912	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.914
6位	健康増進施策の充実 2.806	健康増進施策の充実 2.796	健康増進施策の充実 2.788	緑化の推進と水辺空間の整備 2.794	平和・都市交流・国際交流の推進 2.775	安全な市民生活の確保 2.884	安全な市民生活の確保 2.897
7位	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.780	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.794	ごみ減量の促進 2.784	平和・都市交流・国際交流の推進 2.778	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.761	平和・都市交流・国際交流の推進 2.872	市民参加・市民協働のまちづくり 2.883
8位	産業の振興・消費生活の推進 2.744	ごみ減量の促進 2.778	市民参加・市民協働のまちづくり 2.783	青少年施策の充実 2.775	災害に強いまちづくり 2.713	小・中学校教育の充実 2.819	緑化の推進と水辺空間の整備 2.881
9位	住宅政策の推進 2.737	市民参加・市民協働のまちづくり 2.765	災害に強いまちづくり 2.777	生涯学習の推進・市民文化の発展 2.768	市民参加・市民協働のまちづくり 2.699	災害に強いまちづくり 2.814	高齢者福祉の推進 2.854
10位	平和・都市交流・国際交流の推進 2.733	青少年施策の充実 2.753	青少年施策の充実 2.765	災害に強いまちづくり 2.730	青少年施策の充実 2.694	市民参加・市民協働のまちづくり 2.769	災害に強いまちづくり（同率9位） 2.854

年代別に見ると、20歳～29歳を除き、「上・下水道の再整備」が1位となっている。20歳～29歳では「上・下水道の再整備」は2位である。また20歳～29歳で1位の「緑化の推進と水辺空間の整備」や、50歳～59歳、60歳～69歳で2位の「安全な市民生活の確保」も、その他の各年代においても概ね上位に位置しており、その満足度の高さがうかがえる。（図表3-7）

図表3-8 満足度（子どもの就学状況別・介護が必要な同居人の有無別順位）

別 順位	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生およ び高校生相 当年齢	介護が必要な同居家族が	
					いる	いない
1位	上・下水道の 再整備 3.068	安全な市民 生活の確保 3.000	上・下水道の 再整備 2.921	上・下水道の 再整備 2.952	上・下水道の 再整備 3.073	上・下水道の 再整備 2.969
2位	緑化の推進 と水辺空間 の整備 2.970	緑化の推進 と水辺空間 の整備 2.975	生涯学習の 推進・市民文 化の発展 2.830	緑化の推進 と水辺空間 の整備 2.864	安全な市民 生活の確保 2.932	緑化の推進 と水辺空間 の整備 2.909
3位	安全な市民 生活の確保 2.918	上・下水道の 再整備 2.974	高齢者福祉 の推進 2.826	健康増進施 策の充実 2.8495	災害に強い まちづくり 2.901	安全な市民 生活の確保 2.868
4位	平和・都市交 流・国際交流 の推進 2.896	障害者福祉 の推進 2.892	健康増進施 策の充実 2.789	生涯学習の 推進・市民文 化の発展 2.8488	健康増進施 策の充実 2.881	健康増進施 策の充実 2.855
5位	災害に強い まちづくり 2.880	高齢者福祉 の推進 2.8810	安全な市民 生活の確保 2.785	安全な市民 生活の確保 2.838	緑化の推進 と水辺空間 の整備 2.868	ごみ減量の 促進 2.834
6位	市民参加・市 民協働のま ちづくり 2.869	市民参加・市 民協働のま ちづくり 2.8806	緑化の推進 と水辺空間 の整備 2.775	平和・都市交 流・国際交流 の推進 2.811	ごみ減量の 促進 2.851	平和・都市交 流・国際交流 の推進 2.820
7位	高齢者福祉 の推進 2.867	地域福祉の 推進 2.865	ごみ減量の 促進 2.770	青少年施策 の充実 2.741	生涯学習の 推進・市民文 化の発展 2.825	生涯学習の 推進・市民文 化の発展 2.816
8位	健康増進施 策の充実 2.822	ごみ減量の 促進 2.849	障害者福祉 の推進 2.750	ごみ減量の 促進 2.730	平和・都市交 流・国際交流 の推進 2.775	市民参加・市 民協働のま ちづくり 2.787
9位	ごみ減量の 促進 2.762	健康増進施 策の充実 2.838	平和・都市交 流・国際交流 の推進 2.727	災害に強い まちづくり 2.709	市民参加・市 民協働のま ちづくり 2.750	災害に強い まちづくり 2.764
10位	生涯学習の 推進・市民文 化の発展 2.736	生涯学習の 推進・市民文 化の発展 2.792	青少年施策 の充実 2.709	市民参加・市 民協働のま ちづくり 2.676	交通システ ムや道路環 境の整備 2.709	青少年施策 の充実 2.733

子どもの就学状況別に見ると、子どもが小学生の家庭を除き、〔上・下水道の再整備〕が1位となっている。子どもが小学生の家庭においても〔上・下水道の再整備〕は3位に位置しており、ここでも満足度の高さがうかがえる。また〔緑化の推進と水辺空間の整備〕、〔安全な市民生活の確保〕も上位に位置している。〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕では、子どもが小学生以下の家庭では10位と全体の順位（6位）より低い、子どもが中学生以上の家庭では全体の順位より高くなっている。

介護が必要な同居家族の有無別に見ると、ここでも〔上・下水道の再整備〕、〔緑化の推進と水辺空間の整備〕、〔安全な市民生活の確保〕が上位に位置しているほか、〔健康増進施策の充実〕も上位に位置している。（図表3-8）

### 3-2 重要度

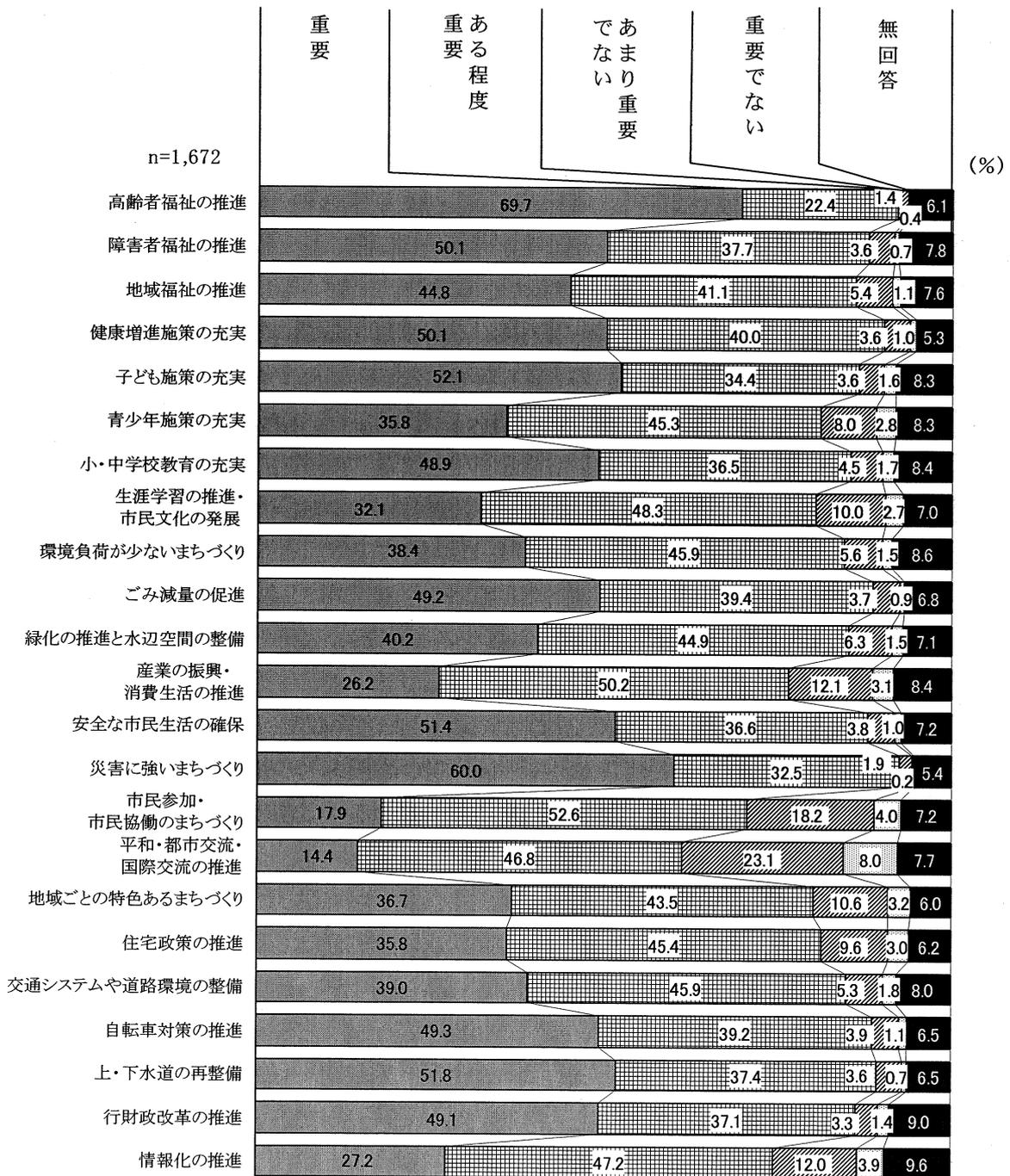
◎ [災害に強いまちづくり] で「重要」が6割台半ば近く、[都市交流・国際交流の推進] で「あまり重要でない」が2割台半ば近く。

問13 以下に挙げた項目について、現在の満足度と重要度をお答えください。満足度がわからない場合でも、【2】今後の重要度については可能な限りご回答ください。

【2】これからの市政を進める上で、どの程度重要だと思いますか。

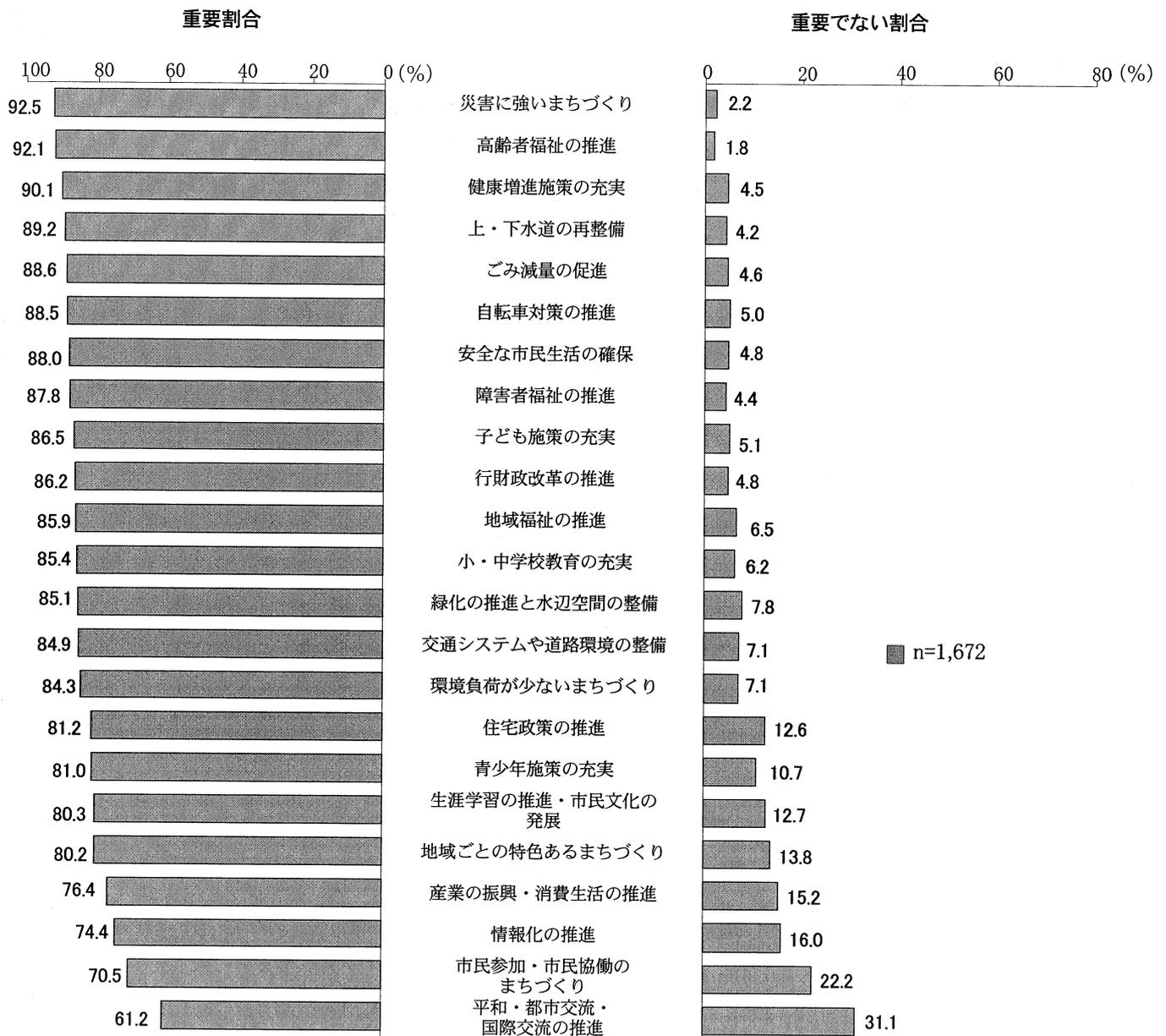
(○は項目ごとに満足度・重要度それぞれ1つ)

図表3-9 重要度



市の施策に対する重要度について、「重要」の割合が最も多いのは〔高齢者福祉の推進〕で約7割、「ある程度重要」は〔市民参加・市民協働のまちづくり〕で5割強となっている。一方、「あまり重要でない」は〔平和・都市交流・国際交流の推進〕で2割台前半となっている。(図表3-9)

図表3-10 重要割合・重要でない割合(重要順)



《重要》

「重要」と「ある程度重要」を合わせた《重要》の割合の高い順にみると、〔災害に強いまちづくり〕、〔高齢者福祉の推進〕および〔健康増進施策の充実〕が9割を超えている。また、「ある程度重要」で5割を超えている〔市民参加・市民協働のまちづくり〕、〔産業の振興・消費生活の推進〕は、重要の割合が少ないため、順位が下位となっている。

《重要でない》

一方、「重要でない」と「あまり重要でない」を合わせた《重要でない》の割合は、「ある程度重要」で5割を超えている〔平和・都市交流・国際交流の推進〕(31.1%)、〔市民参加・市民協働のまちづくり〕(22.2%)が高くなっている。(図表3-10)

図表3-11 重要度（項目別件数表および重要度）  
（件数）

番号	項目	4	3	2	1	合計	無回答	重要度
		重要	重要 ある程度	あまり 重要でない	重要でない			
1	高齢者福祉の推進	1,165	375	24	6	1,570	102	3.719
2	障害者福祉の推進	838	630	61	12	1,541	131	3.489
3	地域福祉の推進	749	688	90	18	1,545	127	3.403
4	健康増進施策の充実	838	669	60	16	1,583	89	3.471
5	子ども施策の充実	871	576	60	26	1,533	139	3.495
6	青少年施策の充実	598	757	133	46	1,534	138	3.243
7	小・中学校教育の充実	818	610	76	28	1,532	140	3.448
8	生涯学習の推進・市民文化の発展	536	807	167	45	1,555	117	3.179
9	環境負荷が少ないまちづくり	642	768	93	25	1,528	144	3.327
10	ごみ減量の促進	823	659	62	15	1,559	113	3.469
11	緑化の推進と水辺空間の整備	672	751	105	25	1,553	119	3.333
12	産業の振興・消費生活の推進	438	839	202	52	1,531	141	3.086
13	安全な市民生活の確保	859	612	63	17	1,551	121	3.491
14	災害に強いまちづくり	1,003	543	32	4	1,582	90	3.609
15	市民参加・市民協働のまちづくり	300	879	305	67	1,551	121	2.910
16	平和・都市交流・国際交流の推進	240	783	387	133	1,543	129	2.732
17	地域ごとの特色あるまちづくり	613	728	177	53	1,571	101	3.210
18	住宅政策の推進	599	759	161	50	1,569	103	3.215
19	交通システムや道路環境の整備	652	767	89	30	1,538	134	3.327
20	自転車対策の推進	824	656	65	19	1,564	108	3.461
21	上・下水道の再整備	866	626	60	11	1,563	109	3.502
22	行財政改革の推進	821	620	56	24	1,521	151	3.471
23	情報化の推進	454	790	201	66	1,511	161	3.080

【重要度】

「重要」から「重要でない」までの4段階の回答を4～1の点数に直し、（無回答を除いた）回答の平均値を【重要度】とした。（図表3-11）

図表 3-12 重要度 (点数順)

順位	番号	項目	重要度	順位	番号	項目	重要度
1	1	高齢者福祉の推進	3.719	13	11	緑化の推進と水辺空間の整備	3.333
2	14	災害に強いまちづくり	3.609	14	19	交通システムや道路環境の整備	3.3270
3	21	上・下水道の再整備	3.502	15	9	環境負荷が少ないまちづくり	3.3266
4	5	子ども施策の充実	3.495	16	6	青少年施策の充実	3.243
5	13	安全な市民生活の確保	3.491	17	18	住宅政策の推進	3.215
6	2	障害者福祉の推進	3.489	18	17	地域ごとに特色あるまちづくり	3.210
7	22	行財政改革の推進	3.4714	19	8	生涯学習の推進・市民文化の発展	3.179
8	4	健康増進施策の充実	3.4713	20	12	産業の振興・消費生活の推進	3.086
9	10	ごみ減量の促進	3.469	21	23	情報化の推進	3.080
10	20	自転車対策の推進	3.461	22	15	市民参加・市民協働のまちづくり	2.910
11	7	小・中学校教育の充実	3.448	23	16	平和・都市交流・国際交流の推進	2.732
12	3	地域福祉の推進	3.403				

最も【重要度】が高いのは〔高齢者福祉の推進〕である。以下〔災害に強いまちづくり〕、〔上・下水道の再整備〕、〔子ども施策の充実〕、〔安全な市民生活の確保〕と続く。

一方、最も【重要度】が低いのは〔平和・都市交流・国際交流の推進〕である。次いで〔市民参加・市民協働のまちづくり〕、〔情報化の推進〕、〔産業の振興・消費生活の推進〕、〔生涯学習の推進・市民文化の発展〕の順で続いている。(図表 3-12)

図表3-13 重要度（性別・居住地域別順位）

別 順位	全体	男性	女性	吉祥寺地域	中央地域	武蔵境地域
1位	高齢者福祉の推進 3.719	高齢者福祉の推進 3.675	高齢者福祉の推進 3.750	高齢者福祉の推進 3.746	高齢者福祉の推進 3.703	高齢者福祉の推進 3.697
2位	災害に強いまちづくり 3.609	災害に強いまちづくり 3.538	災害に強いまちづくり 3.658	災害に強いまちづくり 3.605	災害に強いまちづくり 3.626	災害に強いまちづくり 3.593
3位	上・下水道の再整備 3.502	行財政改革の推進 3.506	上・下水道の再整備 3.552	安全な市民生活の確保 3.539	子ども施策の充実 3.512	ごみ減量の促進 3.488
4位	子ども施策の充実 3.495	子ども施策の充実 3.469	障害者福祉の推進 3.539	上・下水道の再整備 3.516	上・下水道の再整備 3.499	子ども施策の充実 3.487
5位	安全な市民生活の確保 3.491	安全な市民生活の確保 3.427	安全な市民生活の確保 3.536	自転車対策の推進 3.503	安全な市民生活の確保 3.496	障害者福祉の推進 3.485
6位	障害者福祉の推進 3.489	小・中学校教育の充実 3.423	子ども施策の充実 3.521	障害者福祉の推進 3.49923	健康増進施策の充実 3.490	上・下水道の再整備 3.483
7位	行財政改革の推進 3.4714	上・下水道の再整備 3.422	ごみ減量の促進 3.5163	子ども施策の充実 3.49922	障害者福祉の推進 3.473	行財政改革の推進 3.471
8位	健康増進施策の充実 3.4713	自転車対策の推進 3.419	健康増進施策の充実 3.5155	行財政改革の推進 3.486	ごみ減量の促進 3.460	小・中学校教育の充実 3.442
9位	ごみ減量の促進 3.469	障害者福祉の推進 3.414	自転車対策の推進 3.490	健康増進施策の充実 3.481	行財政改革の推進 3.452	健康増進施策の充実 3.441
10位	自転車対策の推進 3.461	ごみ減量の促進 3.404	小・中学校教育の充実 3.463	ごみ減量の促進 3.467	自転車対策の推進 3.450	安全な市民生活の確保 3.422

性別に見ると、1位、2位は〔高齢者福祉の推進〕と〔災害に強いまちづくり〕である。男性では、全体で7位の〔行財政改革の推進〕が3位となっている。一方、女性では〔上・下水道の再整備〕が全体と同じ3位になっている。

居住地域別に見た場合でも、〔高齢者福祉の推進〕と〔災害に強いまちづくり〕が1位、2位を占めている。その他の項目では、〔子ども施策の充実〕が吉祥寺地域では7位、中央地域では3位、武蔵境地域では4位となっており、また〔上・下水道の再整備〕は吉祥寺・中央両地域で4位、武蔵境地域で6位となっている。〔ごみ減量の促進〕では、武蔵境地域で3位と他の地域に比べて高い割合になっている。（図表3-13）

図表3-14 重要度（年代別順位）

年代 順位	20歳～ 29歳	30歳～ 39歳	40歳～ 49歳	50歳～ 59歳	60歳～ 69歳	70歳～ 79歳	80歳以上
1位	高齢者福祉の推進 3.686	子ども施策の充実 3.656	高齢者福祉の推進 3.702	高齢者福祉の推進 3.754	高齢者福祉の推進 3.779	高齢者福祉の推進 3.699	高齢者福祉の推進 3.829
2位	災害に強いまちづくり 3.643	高齢者福祉の推進 3.638	災害に強いまちづくり 3.594	災害に強いまちづくり 3.600	上・下水道の再整備 3.598	災害に強いまちづくり 3.638	上・下水道の再整備 3.689
3位	子ども施策の充実 3.596	災害に強いまちづくり 3.591	安全な市民生活の確保 3.504	行財政改革の推進 3.540	災害に強いまちづくり 3.584	上・下水道の再整備 3.614	災害に強いまちづくり 3.634
4位	ごみ減量の促進 3.561	小・中学校教育の充実 3.496	上・下水道の再整備 3.491	障害者福祉の推進 3.517	障害者福祉の推進 3.562	安全な市民生活の確保 3.550	自転車対策の推進 3.556
5位	行財政改革の推進 3.515	安全な市民生活の確保 3.460	自転車対策の推進 3.487	上・下水道の再整備 3.515	行財政改革の推進 3.554	ごみ減量の促進 3.537	安全な市民生活の確保 3.553
6位	健康増進施策の充実 3.5059	障害者福祉の推進 3.424	障害者福祉の推進 3.459	ごみ減量の促進 3.506	子ども施策の充実 3.527	健康増進施策の充実 3.529	障害者福祉の推進 3.549
7位	環境負荷が少ないまちづくり 3.5058	健康増進施策の充実 3.418	子ども施策の充実 3.441	安全な市民生活の確保 3.473	健康増進施策の充実 3.504	自転車対策の推進 3.512	交通システムや道路環境の整備 3.536
8位	安全な市民生活の確保 3.500	自転車対策の推進 3.399	ごみ減量の促進 3.440	健康増進施策の充実 3.462	地域福祉の推進 3.502	小・中学校教育の充実 3.505	地域福祉の推進 3.530
9位	障害者福祉の推進 3.476	ごみ減量の促進 3.365	行財政改革の推進 3.438	自転車対策の推進 3.441	ごみ減量の促進 3.494	障害者福祉の推進 3.462	行財政改革の推進 3.491
10位	自転車対策の推進 3.438	行財政改革の推進 3.360	健康増進施策の充実 3.435	地域福祉の推進 3.414	小・中学校教育の充実 3.486	交通システムや道路環境の整備 3.453	健康増進施策の充実 3.472

年代別に見ると、30歳～39歳を除き〔高齢者福祉の推進〕が1位となっている。30歳～39歳では〔高齢者福祉の推進〕は2位である。また30歳～39歳、70歳～79歳、80歳以上を除き〔災害に強いまちづくり〕が2位となっている。その他、各年代において〔障害者福祉の推進〕が上位に位置しているほか、40歳以上では〔上・下水道の再整備〕も上位に位置している。〔子ども施策の充実〕は、20歳～29歳では3位、30歳～39歳では1位となっており、子育てをしている年代が重要と考えている傾向がある。（図表3-14）

図表 3-15 重要度（子どもの就学状況別・介護が必要な同居人の有無別順位）

別 順位	小学校 入学前	小学生	中学生	高校生およ び高校生相 当年齢	介護が必要な同居家族が	
					いる	いない
1位	子ども施策 の充実 3.851	小・中学校教 育の充実 3.723	災害に強い まちづくり 3.695	高齢者福祉 の推進 3.728	高齢者福祉 の推進 3.846	高齢者福祉 の推進 3.701
2位	小・中学校教 育の充実 3.822	高齢者福祉 の推進 3.622	小・中学校教 育の充実 3.659	災害に強い まちづくり 3.625	災害に強い まちづくり 3.637	災害に強い まちづくり 3.594
3位	高齢者福祉 の推進 3.654	災害に強い まちづくり 3.592	高齢者福祉 の推進 3.639	障害者福祉 の推進 3.574	障害者福祉 の推進 3.547	子ども施策 の充実 3.511
4位	青少年施策 の充実 3.603	子ども施策 の充実 3.574	子ども施策 の充実 3.561	安全な市民 生活の確保 3.548	上・下水道の 再整備 3.535	安全な市民 生活の確保 3.490
5位	安全な市民 生活の確保 3.581	自転車対策 の推進 3.534	上・下水道の 再整備 3.524	上・下水道の 再整備(同率 4位) 3.548	行財政改革 の推進 3.505	上・下水道の 再整備 3.481
6位	災害に強い まちづくり 3.565	安全な市民 生活の確保 3.486	ごみ減量の 促進 3.506	行財政改革 の推進(同率 4位) 3.548	健康増進施 策の充実 3.483	障害者福祉 の推進 3.480
7位	ごみ減量の 促進 3.4774	ごみ減量の 促進 3.483	自転車対策 の推進 3.500	小・中学校教 育の充実 3.526	ごみ減量の 促進 3.477	健康増進施 策の充実 3.464
8位	健康増進施 策の充実 3.4771	上・下水道の 再整備 3.469	障害者福祉 の推進 3.457	ごみ減量の 促進 3.504	自転車対策 の推進 3.470	ごみ減量の 促進 3.463
9位	障害者福祉 の推進 3.454	行財政改革 の推進 3.465	健康増進施 策の充実 3.432	子ども施策 の充実 3.4672	地域福祉の 推進 3.455	小・中学校教 育の充実 3.459
10位	緑化の推進 と水辺空間 の整備 3.435	青少年施策 の充実 3.432	安全な市民 生活の確保 3.415	自転車対策 の推進 3.4667	安全な市民 生活の確保 3.454	自転車対策 の推進 3.456

子どもの就学状況別に見ると、〔小・中学校教育の充実〕が、子どもが小学生の場合は1位、小学校入学前の場合および中学生の場合に2位、高校生および高校生相当年齢の場合7位と上位に位置している。また子どもは小学校入学前の場合に1位の〔子ども施策の充実〕は、子どもが小学生および中学生の場合にも4位、高校生および高校生相当年齢の場合9位となるなど、子どもに関連した施策を重視していることがうかがえる。

介護が必要な同居家族の有無別に見ると、ここでも〔高齢者福祉の推進〕と〔災害に強いまちづくり〕上位に位置しているほか、介護が必要な同居家族がいると回答した家庭では、〔障害者福祉の推進〕が、介護が必要な同居家族がいないと回答した家庭に比べて上位に位置している。（図表 3-15）